

第2回ハンセン病問題を知りたい青年交流会 in駿河療養所 第2次募集要項

2001年の「ハンセン病訴訟」勝利判決から5年たちます。裁判では、90年もの間続けられた強制隔離や療養所内で行われた非人間的な強制労働と強制中絶・墮胎は間違いだとし、国は元患者さんたちに謝りました。私たちが暮らしている社会の片隅でこのようなひどいことが行われていたことは信じがたく、そして未解決のこともいっぱいです。いまだに残る差別と偏見、社会復帰、療養所の将来...そして昨年10月には韓国・台湾の療養所に隔離されていた方への判決もありました。

私たちはこの問題に興味ある人と、一緒に学び交流したいと思っています。ぜひご参加ください。

- 主催：ハンセン病市民学会 青年学生部会
- 日時：2006年8月26（土）～27（日）
- 会場：国立療養所 駿河療養所（静岡県御殿場市神山1915）
- 参加対象：ハンセン病問題に興味がある若者（初心者歓迎）
- 定員：50人（申し込み順に受け付けますが、様々な県からの参加を重視します）
- 参加費：ひとり5000円（宿泊費と3食含む）

●プログラム：

26日（土）

- 13：00 受付開始
- 13：30 開会・オリエンテーション
- 14：00 **ハンセン病問題入門講座**

講師：青木美憲さん（邑久光明園医師）

青木美憲さんの経歴

1965年 北海道で生まれる
1993年 大阪大学医学部卒業
1997年 同大学院公衆衛生講座で、
入所者818人の聞き取り調査を行う
2000年 邑久光明園 勤務
2000年 「国賠訴訟」において原告側証人として
被害の実態について証言
2002年 ハンセン病対策支援のためJICAより
ミャンマーへ派遣
2004年 帰国後は駿河療養所と邑久光明園に勤務

- 17：00 休憩
- 18：00 **夕食交流会**
- 20：00 1日目終了（各自で入浴、就寝）

27日（日）

- 8：00 朝食
- 9：00 **分科会** 以下のようなテーマを準備中です（変更の場合もあります）
 - ・「療養所の今と昔とこれから」小鹿自治会長を囲んで
 - ・「社会復帰の楽しさと難しさ」平野昭さんを囲んで
 - ・「療養所で働く人と語ろう」
 - ・「神山復生病院（私立療養所）へ行ってみよう」
 - ・「入所者の人生と向き合って 聞き取り集の取り組み」
- 12：00 昼食休憩
- 13：30 分科会報告
- 14：00 まとめの集い
- 15：00 全日程終了、閉会

●アクセス

- ・東名自動車道 裾野インター から5分、
- ・JR東海道線 岩波駅 から送迎あります

●参加申し込み

ハンセン病市民学会 青年学生部会（下記） または 最寄りの幹事まで
由井 (hansen-asahikawa@mbj.nifty.com / 090-8372-3286)
小堀 (hansen-taiyou.20040314@s8.dion.ne.jp /080-3638-2805)

●申し込み締め切り：6月末日

※締め切り以降にも、興味のある方は上記まで問い合わせください。

昨年8月のハンセン病問題を知りたい青年交流会 in 栗生楽泉園（ハンセン病問題を知りたい青年交流会準備事務局主催）の様子↓

